

『日本労働研究雑誌』 総目次

(No. 606/2011年1月～
No. 617/2011年12月号)

(提言)

- 多様な正社員の具体化を ……久本 憲夫…606
労働法学の発展のために ……菅野 和夫…608
短期雇用法制のこれから ……鎌田 耕一…610
低経済成長下の賃金格差はどう変わるか
……………佐野 陽子…611
震災復興と寄付・ボランティアの役割
……………山内 直人…612
個別労働紛争とは何か ……野田 進…613
学力研究への視角 ……耳塚 寛明…614
均等法の25年……………浜田富士郎…615
「就業規則」を用いない労働契約法を
……………毛塚 勝利…616
評価は評価では決まらない ……今野浩一郎…617

(論文)

- 〈日本の雇用システムは変わったか?—受け手と担
い手の観点から〉
日本企業の経営者—神話と実像
……………三品 和広・日野恵美子…606
管理職への選抜・育成から見た日本的雇用制度
……………八代 充史…606
日本の技術者—技術者を取り巻く環境にどのような変
化が起こり、その中で彼らはどの様になったのか
……………中田 喜文・宮崎 悟…606
生産現場の知的熟練は2000年代にどう変わったのか
……………村松久良光…606
日本の新人—日本的家族と日本的雇用の殉教者
……………矢野 眞和…606
2009年の日本の人事部—その役割は変わったのか
……………平野 光俊…606
日本の労働組合—過去・現在・未来
……………藤村 博之…606
〈2010年労働政策研究会議報告—非正規雇用をめ
ぐる政策課題〉
非正規社員活用の多様化と均衡処遇—パートと契約社
員の活用を中心に ……島貫 智行…607

- 非正規社員の企業内訓練についての分析
……………原 ひろみ…607
非正規労働者の声を活かす—組織化の事例から
……………後藤 嘉代…607
非正規雇用をめぐる政策課題—労働法の視点から
……………奥田 香子…607
スウェーデンの労使関係—企業レベルの賃金交渉の
分析から ……西村 純…607
企業のワーク・ライフ・バランス施策は「新たな報酬」
か?—ワーク・ライフ・バランス施策と企業への
帰属意識の関係からの考察 ……高村 静…607
労働契約の規制手法としての任意法規の意義と可能性
—“default rules”をめぐる学際的研究からの示唆
……………坂井 岳夫…607
企業組織再編における労働関係の移転—ドイツ民法
典613a条および組織再編法における労働関係移転
の検討 ……成田 史子…607
韓国における就業規則による労働条件の不利益変更
……………朴 孝 淑…607
嘱託(再雇用者)社員の人事管理の特質と課題—60
歳代前半層を中心にして
……………藤波 美帆・大木 栄一…607
営業支援職の組織内キャリア形成—コンサルティング
会社A社の事例研究……………長田 美絵…607
〈短期雇用〉
オークン法則と雇用調整 ……黒坂 佳央…610
雇用ポートフォリオの規定要因
……………阿部 正浩…610
短期派遣労働者の就業選択と雇用不安
……………小野 晶子…610
短期雇用についての法的理論 ……野川 忍…610
短期雇用法制の国際比較—有期雇用と労働者派遣法
制をめぐる、アメリカ法、ドイツ法、オランダ法の
状況 ……本庄 淳志…610
〈低成長と賃金の変容〉
賃金はどのように決まるのか—素朴な疑問にこたえ
る ……佐々木 勝…611

EU 主要国における団体交渉と賃金決定——制度の持続性と変化	鈴木 宏昌…611
低成長と日本的雇用慣行——年功賃金と終身雇用の補完性を巡って	濱秋 純哉・堀 雅博 前田佐恵子・村田 啓子…611
成果主義の賃金改革と2つの市場	樋口 純平…611
賃金の弾力的調整をめぐる法的問題	梶川 敦子…611
一般労働者の賃金分散についての要因分析	岩城 秀裕・権田 直・増田 幹人…611
〈不安の時代と労働〉	
幸福度研究の現状——将来不安への処方箋	浦川 邦夫…612
不安の中の若者と仕事	久木元真吾…612
現代の労働者と社会保障制度	笠木 映里…612
〈個別労働紛争の背景と解決システム〉	
個別労働紛争解決の経済学	石田潤一郎…613
個別労働紛争における労働組合の役割	久本 憲夫…613
わが国の個別労働紛争調整システムの課題——イギリスとの比較を中心に	野瀬 正治…613
〈仕事に「学力」は不要か？——学力研究の最前線〉	
日本の学力研究の現状と課題	川口 俊明…614
学力の決定要因——経済学の視点から	北條 雅一…614
大学生の学力と仕事の遂行能力	小方 直幸…614
〈均等法のインパクト〉	
四半世紀を迎えた男女雇用機会均等法	山田 省三…615
男女雇用機会均等法の長期的効果	安部由起子…615
均等法とワーク・ライフ・バランス——両立支援政策は均等化に寄与しているか	川口 章…615
均等法後の企業における女性の雇用管理の変遷	脇坂 明…615
男女雇用均等の制度的要件の国際比較——日本の男女間格差はなぜ根強いのか	マルガリータ・エステベス・アベ…615
雇用均等時代と大卒女性の雇用に関する研究	李 尚波…615

〈ミッドエイジの危機〉

中年年齢層男性の貧困リスク——失業者の貧困率の推計	四方 理人・駒村 康平…616
中高年男性の不安の構造を探る——パネル調査の分析を通じて	松浦 民恵…616
60歳以降の勤続をめぐる実態——企業による継続雇用の取組みと高齢労働者の意識・行動	藤本 真…616
〈評価制度の弊害は除けるか？〉	
評価制度の経済学——設計上の問題を理解する	大湾 秀雄…617
人事評価を効果的に機能させるための心理学からの論点	高橋 潔…617
人事考課の裁量性と公正さをめぐる法理論	柳屋 孝安…617
人事評価の運用の最適化によるパフォーマンス・マネジメント——評価者と被評価者の相互意識化およびフィードバックの促進効果	古川 久敬…617

〈論文要旨〉

〈2010年労働政策研究会議報告——非正規雇用をめぐる政策課題〉	
産業別労働協約の分散化によるドイツ型労使交渉の諸要素の変容と行方——労働組合と経営協議会を中心に	陳 浩…607
ドイツにおけるワーク・ライフ・バランスと非典型雇用	田中 洋子…607
経済のグローバル化が日韓の労働者にもたらす影響の総合的研究——労働力の非正規化と家族の変化が所得に与える影響	大沢真知子・金 明 中…607
日本における仕事満足度の決定要因およびその雇用形態間の差異	馬 欣欣…607
技術部門における仕事管理——戦略的人的資源管理の視点を踏まえて	田中 秀樹…607

〈紹介〉

〈不安の時代と労働〉

勤労者が抱える失業と生活の不安——『勤労者短観』10年間の分析	南雲 智映・小熊 栄…612
企業における健康問題への取り組みの視点	矢倉 尚典…612

……………和田 肇・道幸 哲也…616

……………高橋 賢司…611

(座談会)

平成 22 年版労働経済白書をめぐって——産業社会の
変化と雇用・賃金の動向

塚田典子編著『介護現場の外国人労働者——日本のケ
ア現場はどう変わるのか』 ……………橋本 由紀…611

……………安部由起子・石水 喜夫
大湾 秀雄・篠崎 武久…606

道幸哲也著『労働組合の変貌と労使関係法』
……………古川 陽二…612

<短期雇用>

雇用ポートフォリオの変化と展望

小宮文人著『雇用終了の法理』
……………木南 直之…612

……………佐野 嘉秀
人事担当者 3 名
労組役員 3 名…610

前田信彦著『仕事と生活——労働社会の変容』
……………多賀 太…613

(書評)

村上由紀子著『頭脳はどこに向かうのか——人「財」
の国際移動』……………桑原 靖夫…606

菅山真次著『「就社」社会の誕生——ホワイトカラーか
らブルーカラーへ』 ……………大湾 秀雄…613

野田知彦著『雇用保障の経済分析——企業パネルデー
タによる労使関係』 ……………齋藤 卓爾…606

西谷敏著『人権としてのディーセント・ワーク——働
きがいのある人間らしい仕事』
……………富永 晃一…614

石塚浩美著『中国労働市場のジェンダー分析——経
済・社会システムからみる都市部就業者』
……………李 青雅…606

三輪卓己著『知識労働者のキャリア発達——キャリア
志向・自律的学習・組織間移動』
……………村上由紀子…615

禹宗杭編著『韓国の経営と労働』
……………金 明 中…608

阿部修人著『家計消費の経済分析』
……………上田 貴子…615

太田聰一著『若年者就業の経済学』
……………三谷 直紀…609

森田園子著『キャリア・パスの壁を破る——韓国の働
く女性をめぐって』 ……………馬越恵美子…615

須田敏子著『戦略人事論——競争優位の人材マネジメ
ント』 ……………平野 光俊…609

大橋史恵著『現代中国の移住家事労働者——農村・都
市関係と再生産労働のジェンダー・ポリティクス』
……………園田 茂人…616

松井保彦著『合同労組運動の検証——その歴史と論
理』 ……………呉 学 殊…609

石岡学著『「教育」としての職業指導の成立——戦前日
本の学校と移行問題』 ……………高瀬 雅弘…616

竹田有著『アメリカ労働民衆の世界——労働史と都市
史の交差するところ』 ……………山崎 憲…609

森ます美・浅倉むつ子編『同一価値労働同一賃金原則
の実施システム——公平な賃金の実現に向けて』
……………両角 道代…616

佐藤博樹・佐野嘉秀・堀田聰子編『実証研究 日本の
人材ビジネス——新しい人事マネジメントと働き
方』 ……………守島 基博…610

神野直彦・宮本太郎編『自壊社会からの脱却——もう
一つの日本への構想』 ……………山田 久…617

中原淳著『職場学習論——仕事の学びを科学する』
……………田中 萬年…610

橋口昌治著『若者の労働運動——「働かせろ」と「働
かないぞ」の社会学』 ……………二神 能基…617

高橋潔著『人事評価の総合科学——努力の能力と行動
の評価』 ……………古川 久敬…610

玄幡真美著『日本の雇用年齢差別—— 35 歳リストラ
社会の構造的不平等』 ……………秋山 憲治…617

大澤史伸著『農業分野における知的障害者の雇用促進
システムの構築と実践』 ……………両角 良子…610

(読書ノート)

巖善平著『中国農民工の調査研究』
……………石塚 浩美…611

大沢真知子著『日本型ワーキングプアの本質——多様
性を包み込み活かす社会へ』
……………雨宮 処凛…606

藤内和公著『ドイツの従業員代表制と法』

熊沢誠著『働きすぎに斃れて——過労死・過労自殺の
語る労働史』 ……………川人 博…606

陳麗婷著『知的障害者の一般就労——本人の「成長す

「力」を信じ続ける支援」	……室山 晴美…608
スヌタ・シータイ, ジョン・J・ローラー, クリス・ローレイ, 鈴木宏昌編『アジアの知識を基盤とする経済における労使関係の多面性』	……香川 孝三…612
山下昇・龔敏編著『変容する中国の労働法——「世界の工場」のワークルール』	……オランゲレル…614
佐藤厚著『キャリア社会学序説』	……谷内 篤博…616
小畠典明著『労働市場改革のミッション』	……大内 伸哉…617

(論文 Today)

「仕事と私的生活のポジティブな関係性」	……藤本 哲史…606
「オーストラリアにおける整理解雇規制——仕事選択法 (Work Choice) 制定前と制定後の動向について」	……天野 晋介…608
「教職の専門職性と学校への親の関与との関係」	……澤田 誠二…609
「従業員のコミットメントと well-being」	……佐藤 舞…610
「介護労働者はなぜ離職するのか——賃金の役割」	……菅原 慎矢…611
「バック・トゥ・ザ・フューチャー?——海外の公共部門における業績連動給導入に関する研究整理から得られる示唆」	……鬼丸 朋子…612
「イギリス労働法における連関 (Nexus) 概念の展開」	……新屋敷恵美子…613
「評価の恣意性と成果主義的賃金制度——大リーグの	

判定データからの示唆」	……高橋 主光…614
「ブランディング企業における〈境界〉の分析」	……寺地 幹人…615
「賃金プロファイルの分析——人的資本・転職と賃金交渉」	……荒木 祥太…616
「賃金決定方法の選択——転職者の採用時賃金はどのように決まるのか?」	……柿澤 寿信…616

(フィールド・アイ)

マラリアと蚊帳の現在	……澤田 康幸…606
インドの未組織部門と非組織部門	……太田 仁志…608
インドの労働改革 雑感	……太田 仁志…609
ハイコスト (?) 経済に暮らし働く人たち	……太田 仁志…610
雇用と年齢	……櫻庭 涼子…611
炭鉱閉鎖後の地域再生・雇用政策	……櫻庭 涼子…612
食と安全と職業の教育	……櫻庭 涼子…613
技術者需要と移民の増加	……大湾 秀雄…614
産業の多様性と起業家を生み出す小企業	……大湾 秀雄…615
生産オフショアリングと所得格差	……大湾 秀雄…616
フランスにおける学校から職業生活への移行	……勇上 和史…617

(発表)

第 34 回 (平成 23 年度) 労働関係図書優秀賞	……615
第 12 回 (平成 23 年度) 労働関係論文優秀賞	……615